



**障害者も共に楽しく生きる街づくり**  
**～地域とのつながりを深める～**

**多摩区地域自立支援協議会での取り組み**



**平成26年10月29日（水）**

**川崎市役所第4庁舎 2階ホール**

# 多摩区



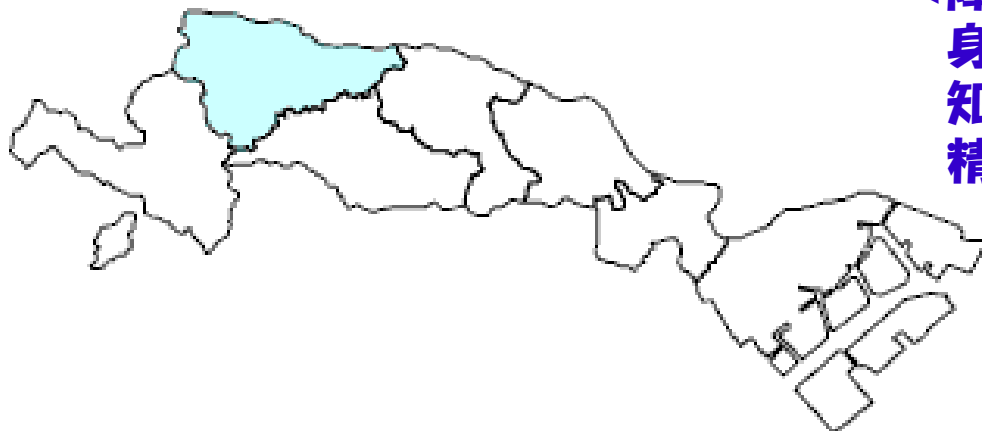
## 区の概要

面積 20.39 km<sup>2</sup>  
人口 214,220人  
世帯数 104,354 世帯  
(2014年6月1日現在)

## < 障害者手帳所持者 >

身体障害者 4747 人  
知的障害者 1189 人  
精神障害者 1402 人

(2014年6月末現在)

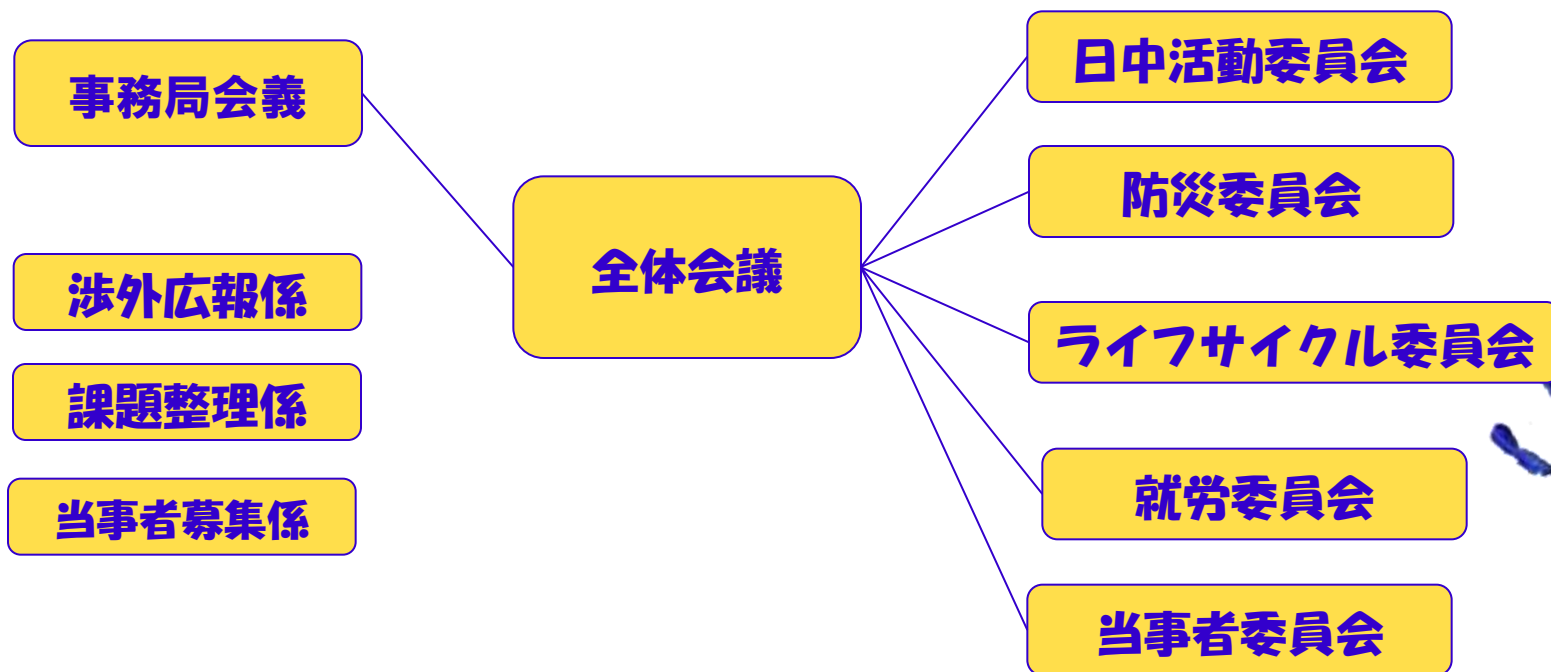


地域とのつながりを  
深める



# 平成26年度の活動体制

月1回事務局会議、各委員会の開催。全体会、当事者委員会は隔月開催。



**< 26年度の構成メンバー（総員数 38名） >**

- ・多摩保健福祉センター
- ・区内の基幹・地域相談支援センター 4カ所
- ・専門機関  
(百合丘障害者センター、北部療育センター、  
北部リハビリテーションセンター、  
就労援助センター、など)
- ・養護学校、児童関係機関、日中活動施設  
社会福祉協議会、居宅支援事業所、地域活動支援  
センター
- ・当事者（7名） 家族（3名）





# 【日中活動委員会】



障がいをお持ちの方が、日中の時間帯に  
過ごせる場、通える場、休日を過ごせる場  
について考えていくことを中心に活動して  
います。



- 交流会の開催
- 日中活動先の情報提供







## 【防災委員会】

東日本大震災をきっかけに災害時における自助、共助、公助について考える活動を行っています。

### ・ 緊急時おたすけカードの作成

多摩区自立支援協議会のホームページから、ダウンロードできます。ご利用ください。

### ・ 災害時の地域とのつながり作り

昨年に引き続き、多摩区防災フェアに参加いたします。防災関係者と災害時要援護者避難支援制度についてお話をする機会を持ちました。





災害時にこのカードに記載する情報を他の人に提供することに同意します。

署名 \_\_\_\_\_

多摩区自立支援協議会 災害対策部

協力者 連絡先	氏名	
	住所	
	関係	
	① 電話番号	
協力者 連絡先	氏名	
	住所	
	関係	
	② 電話番号	
要援護者登録	している・していない	

協力者 連絡先	氏名	
	住所	
	関係	
	③ 電話番号	
民生委員		
町内会 自治会		
避難場所①		
避難場所②		

## 災害時

# おたすけカード

あなたのおてつだいが  
必要です

### 身体障害のある方

- 安定感のあるコップ
- 曲がるストロー
- メモ・筆記具
- スプーン

#### <視覚障害のある方>

- 白杖
- メガネ
- 点字器と点字用紙
- 筆記用具
- 防災地図(点字用)
- 録音再生機器

#### <聴覚・言語機能障害のある方>

- 懐中電灯(大2本) (夜間における人との会話の時、自分と相手の顔を照らし口形や表情をみるため)
- 補聴器スペア 予備電池
- 紙(たくさん)と筆記用具
- 文字放送付携帯用テレビ

### 知的障害のある方

- 本人との関わり方のメモ
- 本人が落ち着くことのできるもの、空き時間を過ごす事ができるもの
- 色鉛筆、クレヨン、ノート、筆記具など
- 名札(必要な方のみ)
- 本人の状態に応じた、有効なコミュニケーションとして使えるもの

### 精神障害のある方

- 安心できる日用品
- 日ごろから服用している薬
- メモ・筆記具

### 薬をのまれている方

日ごろから、「おくすり手帳」をもつようにしましょう。  
処方内容のわかるものも用意しておきましょう。  
最低3日分は薬を用意しておきましょう。

### 非常持ち出し品チェック

- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- ビニール袋、雨具
- 防寒着
- 生理用品 紙オムツ
- 笛、ブザー
- カイロ(使い捨て)
- 下着類、靴下、手袋
- 障害者手帳
- おたすけカード
- 要援護者用の目印(黄色いバンダナなど)
- 貴重品(現金など)
- 保存食品(水・チョコレートなど)
- 補装具・医療器具など(災害時の対応方法について、主治医や機器取扱店と確認しておきましょう。)

### 災害時に正しい情報を得るために

- 災害用伝言ダイヤル 171
- 川崎市ホームページ
- かわさきFM 79.1
- 防災テレホンサービス  
0120-910-174(一般電話)  
044-245-8870(携帯・PHS)

### その他

- 災害時、症状が悪化し「避難所」での生活が困難になる人は、悪化時の対応も含めて、あらかじめ主治医に相談しておきましょう。
- 「避難所」では、ルールを守り、自分のできる範囲の役割分担をして助け合いましょう。



# 【ライフサイクル委員会】

「人の人生を通して必要時に必要な支援について考える」という目的で活動をすすめてきました。

- ・ 福祉サービスの情報の啓発と交換
- ・ ニーズの現状把握
- ・ 地域の関係者との意見交流



# 多摩区 ヘルパー事業所のつどい

## ・地域の関係者との意見交流

平成25年度～3回 多摩市民館にて開催

- ・多摩区内のヘルパー事業所同士の意見交換
- ・19社の中、11社の事業所が参加、意見交流を図る
- ・相談支援センターやヘルパー事業所で日々の業務で困っていることの共有が出来た。



# 【就労委員会】

- 障害のある人が一般の人たちと一緒に働くために、またすでに働いている人が働き続けるために、多摩区の障害福祉に携わる機関に何ができるか、どのように地域の人たちに協力をお願いできるか、協議しています。

まだ福祉関係者中心（障害当事者を含む）

ですが、企業関係者や地域の方達にも今後参加していただけたらと願っています。





# 【当事者委員会】

・当事者が集まって話合うことで、解決できそうなことはないか、何かできることはないか模索中。

・登戸駅から区役所までのバリアフリー状況等、街中調査をしています。





## 多摩ふれあいまつり

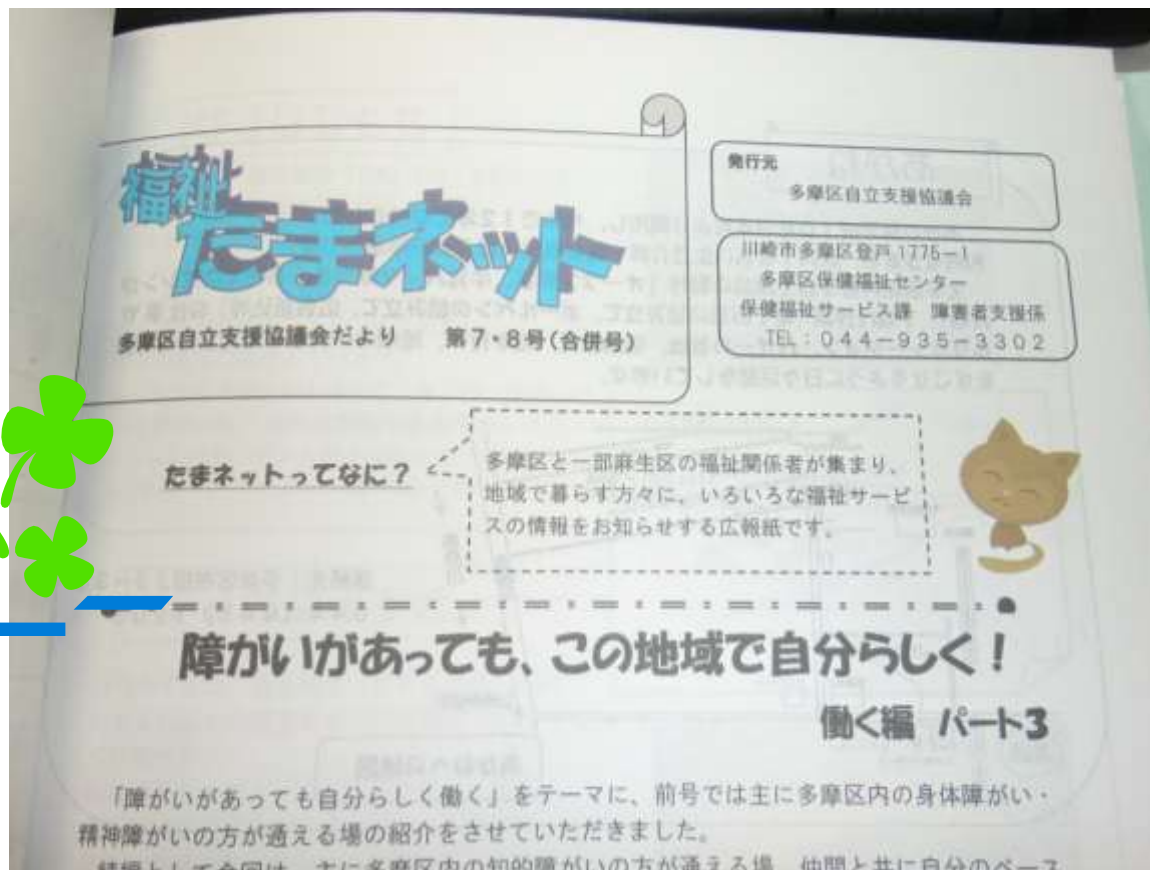
- ・年に1回、多摩区役所内市民館を利用して行っている福祉祭り。パネル展示を行い相談員を配置。





## 「パサーージュ・たま」への協力

月に1回、多摩区内の障害者施設等の活動紹介や製品販売を通し区民への理解を求める活動。



## たまネットの発行（年1回）

多摩区地域自立支援協議会の広報紙

全戸に情報が伝わるよう町内会を通じ回覧板を利用し啓発に努めています。





ご静聴ありがとうございました。

